

平成26年度

定時総会を開催

去る5月26日(月)、平成26年度定時総会を明治記念館(港区元赤坂)にて開催しました。当日は、平成25年度事業報告並びに収支決算、平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)についてご承認いただきました。また、議事終了後、優良技術者表彰式(25頁)を執り行いましたので、その概要を報告します。

平成25年度 事業報告並びに同収支決算について

— 平成25年度 事業報告 —

■はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、平成25年度事業を遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

本年度は、技士会単独の講習会を10のテーマで開催したほか、(一社)東京建設業協会との共催で、若年技術者に重点を置いた研修会を8回実施いたしました。

また、広く都民や学生の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、「一般向けの土木施設見学会」を開催し、昨年度に続いて「まちづくり展」を共催いたしました。

さらに、会員会社が施工する道路工事現場など2ヶ所を視察し、土木技術者の技術力向上の支援に努めました。

このほか、機関誌「DOBOKU技士会 東京」を発行しました。

■事業概要

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会の実施

技士会単独開催を10回、(一社)東京建設業協会との共催研修会を8回、合計18回の講習会・研修会を開催した。また、1級土木施工管理技術検定学科試験受験準備講習会の受講者のうち学科試験合格者に実地試験対策のために問題集を配付した。

①若年技術者のための支援(共催)

- 新入社員研修会

平成25年4月2日～3日

- 若手技術者のためのコミュニケーション能力強化研修会

平成25年6月6日

- 新入社員半年フォロー研修会

平成25年10月10日

平成25年11月14日

- 若手社員(3年次～5年次)フォロー研修会

平成25年10月24日

②1級土木施工管理技士資格取得のための支援

- 学科試験受験準備講習会

平成25年5月29～30日

- 学科試験合格者に実地試験問題集を配付(会員かつ講習会受講者対象)

平成25年8月下旬

③基礎的な技能習得のための支援

- 安全管理講習会

平成25年4月24日

- 仮設構造物(土留め工)の設計講習会

平成25年6月5日

- コンクリート施工技術講習会

平成25年8月29日

- 環境管理講習会

平成25年9月10日

④総合的な技能習得のための支援

- 現場管理スキルアップ講習会

平成25年5月14日

- ・現場代理人の折衝力強化研修会（共催）
平成25年6月11日
平成25年7月9日
- ・コンクリート構造物の維持管理講習会
平成25年11月20日
- ・若手技術者育成のための指導者講習会
平成25年11月28日
- ・土木工事における積算業務実務講習会
平成26年1月30日
- ・総合評価方式で勝つための現場施工改善（講習会）
平成26年2月27日

⑤ 経営者のための支援（共催）

- ・コンプライアンスセミナー
平成25年7月30日

(2) 土木工事現場の視察

土木技術者の技術力向上を図るため、会員会社の協力を得て、土木工事現場の見学会を開催した。

- ・東京港中央防波堤外側地区岸壁築造工事
平成25年6月10日
- ・東京外環自動車道国分工事
平成26年1月22日

2. 広報事業

(1) まちづくり展の共催

広く都民や学生の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、展示会を開催した。

- ・まちづくり展の開催（共催）
平成25年9月25日～27日

(2) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU技士会 東京」を年3回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- ・第55号（平成25年4月）
- ・第56号（平成25年8月）
- ・第57号（平成25年12月）

(3) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内を郵送のほか、会報誌やメール・ホームページを活用して、

情報提供に努めた。

(4) 一般向けの広報活動

- ・一般向施設見学会（日本橋川・隅田川・神田川橋梁見学クルーズ）
平成25年10月22日
- ・「わくわくすいすいKIDSクラブ水辺探検隊」への協力
平成25年8月3日
平成25年8月10日
平成25年8月24日

3. 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入先調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

(1) 優良技術者表彰の実施

会員から推薦された優良技術者88名を表彰した。

(2) 各種表彰候補者の推薦

優良技術者の中から3名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

5. 連絡協議

(1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、（一社）東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

6. 会議

(1) 総会

定時総会 平成25年5月21日

議決事項

- ① 平成24年度事業報告並びに同収支決算に関する件
- ② 平成25年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件
優良技術者表彰 88名

(2) 理事会

第1回 平成25年5月21日

- ① 平成24年度事業報告並びに同収支決算に関する件

第2回 平成26年3月18日

- ① 平成26年度事業計画(案)に関する件
- ② 平成26年度収支予算(案)に関する件

(3) 監事会 平成25年4月12日

- ① 平成24年度事業並びに決算について監査

7. 委員会

(1) 総務委員会

第1回 平成25年12月10日

- ① 平成25年度会員の異動状況と収入状況について
- ② 平成25年度事業の実施状況と今後の予定について

第2回 平成26年3月4日

- ① 平成26年度事業計画(案)について
- ② 平成26年度収支予算(案)について

(2) 事業運営委員会

第1回 平成25年11月26日

- ① 平成25年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰の実施について

第2回 平成26年2月25日

- ① 平成26年度事業計画(案)について
- ② 平成26年度優良技術者表彰について

・講習会グループ会議（随時）
平成25年度講習会事業の実施状況、平成26年度講習会事業などを協議するため開催した。

・現場視察グループ会議（随時）
平成25年度現場見学会候補地選定をするため開催した。

・情報・広報グループ会議（随時）
機関誌「DOBOKU技士会 東京」、まちづくり展、異業種他分野の各種施設見学会及び一般向け施設見学会候補地、会員意識調査内容などを協議するため開催した。

—— 平成25年度 収支計算書 ——

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
会費収入	33,990,000	33,461,700	528,300
入会金収入	200,000	95,000	105,000
事業収入	4,000,000	4,483,000	△ 483,000
雑収入	100,000	211,667	△ 111,667
当期収入合計(A)	38,290,000	38,251,367	38,633
前期繰越収支差額	12,350,000	12,371,057	△ 21,057
収入合計(B)	50,640,000	50,622,424	17,576

(△印は収入増)

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
大科目			
事業費	28,600,000	28,111,390	488,610
管理費	8,690,000	8,526,498	163,502
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	3,000,000	0	3,000,000
当期支出合計(C)	41,290,000	37,637,888	3,652,112
当期収支差額(A)-(C)	△ 3,000,000	613,479	△ 3,613,479
次期繰越収支差額(B)-(C)	9,350,000	12,984,536	△ 3,634,536

平成26年度 事業計画並びに同収支予算について

—— 平成26年度 事業計画 ——

■ 基本方針

現在、経済政策による公共事業の大幅増大、さらには、2020年東京オリンピック・パラリンピックの招致が実現したことにより、首都圏の交通インフラの中核をなす3環状道路の整備や老朽化した都市基盤の整備、防災対策の加速も見込まれるなど、安全安心なまちづくりを担う建設業に対する期待が高まりをみせています。

しかしながら建設業界は、長期にわたった建設投資の減少とそれに伴う過当競争の中で、多くの技術者が業界を離れ、技術者不足が顕著となっています。

当会では、これまで建設業界のイメージアップにつながる展示会や見学会など、多様な広報活動を行ってまいりました。今年度は、これに加え業界の現状を踏まえて、優秀な技術者確保につながるよう関係団体と協力し、「合同企業説明会」を新たに開催します。また、広く都民や学生の方々に、土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため「一般向け見学会」を、多くの方々に参加していただけるよう工夫して実施してまいります。さらには、講習会事業においても一部刷新を図り、会員の皆様にとってより魅力あるものにするとともに、現場見学会の充実や土木技術者に対する情報の提供、スキルアップの支援など、会員ニーズを反映した事業を展開してまいります。

■ 事業計画

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

- ① 若年技術者のための支援（共催） 4回程度
- ② 1級土木施工管理技士資格取得のための支援
・学科試験受験準備講習会 1回
・学科試験合格者へ実地試験問題集配付（会員かつ講習会受講者対象）
- ③ 基礎的な技能習得のための支援 5回程度
- ④ 総合的な技能習得のための支援 5回程度

- ⑤ 経営者のための支援（共催） 1回程度
- (2) 土木工事現場の視察 2回程度
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 1回程度

2. 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行
- (4) 会員名簿の発行
- (5) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

3. 調査研究

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

5. 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

6. 会議

- (1) 総会
① 定時総会
② 臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

7. 委員会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会
① 講習会グループ会議
② 現場視察グループ会議
③ 情報・広報グループ会議

— 平成26年度 収支予算書 —

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	26年度 予算額	25年度 予算額	増 減
大 科 目			
会 費 収 入	33,640,000	33,990,000	△ 350,000
入 会 金 収 入	200,000	200,000	0
事 業 収 入	4,000,000	4,000,000	0
雑 収 入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	37,940,000	38,290,000	△ 350,000
前期繰越収支差額	13,010,000	12,350,000	660,000
収 入 合 計 (B)	50,950,000	50,640,000	310,000

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目	26年度 予算額	25年度 予算額	増 減
大 科 目			
事 業 費	28,080,000	28,600,000	△ 520,000
管 理 費	8,860,000	8,690,000	170,000
引当預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予 備 費	3,000,000	3,000,000	0
当期支出合計(C)	40,940,000	41,290,000	△ 350,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 3,000,000	△ 3,000,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	10,010,000	9,350,000	

役員任期満了に伴う改選について

役員任期満了に伴い、改選が行われ下記の方々を選出されました。

— [役員名簿] —

平成26年5月26日現在
(敬称略)

技士会役職	氏 名	会 社 名	技士会役職	氏 名	会 社 名
会 長	水 島 久 尾	大豊建設株式会社	理 事	笠 川 源	飛鳥建設株式会社
副 会 長	山 田 裕 之	戸田建設株式会社	//	清 水 三千洋	株式会社ナカノブー建設
//	岡 本 正	清水建設株式会社	//	森 本 裕 朗	西松建設株式会社
理 事	福 富 正 人	株式会社安藤・間	//	一 木 英 臣	日本道路株式会社
//	高 橋 健 次	オリエンタル白石株式会社	//	林 清 一	林建設株式会社
//	瀬 口 智 勝	鹿島建設株式会社	//	金 子 賜	株式会社フジタ
//	加 藤 岩 男	株木建設株式会社	//	野 村 義 安	前田建設工業株式会社
//	石 垣 和 男	株式会社熊谷組	//	三 宅 悟	三井住友建設株式会社
//	越 智 修	五洋建設株式会社	//	神 原 正 明	みらい建設工業株式会社
//	和 氣 講 一	坂田建設株式会社	//	立 川 忠 道	個人会員
//	元 茂 孝 善	佐藤工業株式会社	監 事	奈良岡 茂	ショーボンド建設株式会社
//	田 村 壽 夫	大成建設株式会社	//	金 子 和 浩	常盤工業株式会社
//	水 谷 景 洋	東急建設株式会社	//	赤 塚 秀 一	三井住建道路株式会社
//	森 山 越 郎	東洋建設株式会社	常務理事	近 藤 義 弘	東京土木施工管理技士会

なお、今回の改選により、山木 昇副会長（総務委員会委員長）が退任され、後任として山田 裕之氏（戸田建設株式会社・執行役員土木工事統轄部長）が選出されました。



山田 裕之 副会長

平成26年度

優良技術者表彰

技士会は、技術者表彰規程に基づき、定時総会時に優良技術者表彰の表彰式を行っています。今年度は次の通り114名の方を表彰しました。

受賞者の皆さまに対し、心よりお祝い申し上げます。



【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】(111名)

国、地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となるとして推薦のあった者

(氏名50音順・敬称略)

氏名	会社名	工事名
畔上 裕行	株式会社フジタ	環2朝潮運河橋りょう(仮称)下部工事(21-1環2築地)
荒河 篤司	東亜建設工業株式会社	平成24年度曙北運河(潮見二丁目)内部護岸本体工及びその他工事
荒川 純	株式会社吉田組	H24中部横断柳島改良工事
生信 将雄	株式会社大本組	平成24年度神津島海岸離岸堤(潜堤)(改良)建設工事
石川 誠一	株式会社竹中道路	上大崎橋外-1橋維持工事(舗装・伸縮装置)
石橋 秀一	ショーボンド建設株式会社	16号拝島橋耐震補強補修工事
石部 勇治	株式会社NIPPO	東京国際空港貨物地区北側ナイトステイエブロン舗装等工事
一志 和則	株式会社アスピー	平成24年度都市計画道路小池平田線道路改築工事
伊藤 伸語	前田道路株式会社	東北自動車道加須管理事務所管内舗装補修工事
糸永 勝	日鋪建設株式会社	H23本新堤防災害復旧工事
稲田 有	東亜建設工業株式会社	平成23年度中央防波堤外側外貿コンテナふ頭(-16m)護岸改良工事(その1)
井上 盛雄	五洋建設株式会社	松風町・久領堤貯留管築造工事その2
岩田 英介	五洋建設株式会社	山梨リニア実験線、浅川橋りょう他(イ)
岩波 浩	西松建設株式会社	東北線小山駅自由通路新設他
岩谷 良太	三井住建道路株式会社	H23横浜国道管内東地区橋面防水他工事
上地 良秀	オリエンタル白石株式会社	さがみ縦貫相模原ICFランプ改良工事
遠藤 大志	西武建設株式会社	街路整備工事(A1橋台工)
遠藤 秀和	日本道路株式会社	平沢地区電線共同溝工事
太田 行信	日鋪建設株式会社	H23本新堤防災害復旧工事
大西 義隆	株木建設株式会社	23国災23-51-871-0-005号 県単河川防災第23-51-662-0-005号 23国災第23-51-084-0-005号 合併 河川災害復旧工事

氏名	会社名	工事名
大畑 秀之	大林道路株式会社	常磐自動車道谷和原管内舗装災害復旧工事
尾形 禎保	東亜道路工業株式会社	道路改修工事（南西－新滝第二工区の18）
小川 普史	大成建設株式会社	圏央道城山八王子トンネル（その3）工事
尾後 陽輔	東亜道路工業株式会社	246号BP永田町歩道整備他工事
小田 幸生	東亜道路工業株式会社	道路改修工事（南西－新滝第二工区の18）
越智 宏充	五洋建設株式会社	新座市新堀二丁目地先から同市本多一丁目地内間原水連絡管（2000mm）用立坑築造工事
小沼 亨	株木建設株式会社	H23西の洲堤防災害復旧工事
片岡 友博	株式会社NIPPO	H24大宮維持工事
金澤 勉	株式会社大本組	さがみ縦貫相模原IC129号接続ランプ橋上部工事
鎌田 幸一	東洋建設株式会社	鹿島港外港地区外港航路復旧工事（その4）
唐戸 裕二	鉄建建設株式会社	一般国道140号 道路改築工事（1号トンネル（仮称））
川越 学	大林道路株式会社	H23原市交差点改良他工事
川田 俊博	日本道路株式会社	常磐自動車道水戸～那珂間舗装災害復旧工事
川村 暢宏	日本道路株式会社	常磐自動車道水戸～那珂間舗装災害復旧工事
菅野 重行	前田道路株式会社	東北自動車道加須管理事務所管内舗装補修工事
菊池 良	ショーボンド建設株式会社	H23春日部・大宮管内橋梁修繕工事
衣笠 厚人	前田建設工業株式会社	（高負）YK41工区（2-1）基礎工事
栗田 智則	株式会社NIPPO	石田電線共同溝路面復旧工事
栗田 充	鉄建建設株式会社	山梨リニア実験線 御坂トンネル（中）
小酒井 聡	株木建設株式会社	H23小高堤防災害復旧工事
小林 正明	りんかい日産建設株式会社	思川開発付替県道1号トンネル工事
齊藤 明弘	前田道路株式会社	関越自動車道高崎管理事務所管内舗装補修工事
斉藤 智大	オリエンタル白石株式会社	市川大橋橋脚補強その4工事
齋藤 元誉	三井住友建設株式会社	H23年度橋りょう補修工事 県単（その1）
坂森 孝充	日本道路株式会社	東京国際空港東旅客ターミナル地区南側エプロン舗装等工事
佐藤 和明	株式会社NIPPO	陸自木更津（23震災関連）誘導路整備土木その他工事
柴丸 祐治	株式会社大本組	さがみ縦貫相模原IC129号接続ランプ橋上部工事
島崎 篤	三井住友建設株式会社	首都圏中央連絡自動車道 関口高架橋他4橋(PC上部工)北工事
嶋田 貢一	オリエンタル白石株式会社	補助公共 社会資本整備総合交付金（市街地整備）上部工
清水 桂太郎	株式会社富士土木	路面補修工事（23四の11）
生子 康明	株式会社富士土木	路面補修工事（24五の1・歩道改善）
城野 健一郎	鹿島建設株式会社	練馬区中村一、三丁目付近枝線工事
菅井 俊二	坪井工業株式会社	浅草線高輪台駅～泉岳寺駅間碎石交換工事
菅澤 敏幸	株式会社富士土木	路面補修工事（24南東の1）
鈴木 真人	前田建設工業株式会社	補助公共 道路改築事業（地方道）（仮称）湖面1号橋P4橋脚工事
住吉 浩二	株式会社フジタ	日の出ポンプ場雨水帯水池築造工事（その2）
須山 貴明	東亜道路工業株式会社	246号BP永田町歩道整備他工事
高野 雄大	奥村組土木興業株式会社	八王子市栲田町545番地から町田市相原町2781番地先間送水管（1500mm）トンネル内配管及び立坑築造工事
高橋 康太	古久根建設株式会社	H24東平山低水護岸工事
高橋 俊泰	戸田建設株式会社	真田・北金目地区32街区外整備その他工事
高山 和敏	五洋建設株式会社	平成24年度二見漁港防波堤東（改良）建設工事（その2）

氏名	会社名	工事名
武田 誠	オリエンタル白石株式会社	さがみ縦貫相模原ICランプ改良工事
竹本 恒範	株木建設株式会社	姫子1丁目都市下水路新設工事
多田 憲治	前田道路株式会社	関越自動車道高崎管理事務所管内舗装補修工事
田中 敬吾	三井住友建設株式会社	H21中部横断田中川橋橋梁工事
谷藤 州司	古久根建設株式会社	H24東平山低水護岸工事
田丸 英幸	ショーボンド建設株式会社	鳥居大橋床板修繕工事
塚本 光一	株木建設株式会社	H23西の洲堤防災害復旧工事
土岐 秀太郎	株式会社吉田組	H24中部横断柳島改良工事
鳥元 彰二	株式会社吉田組	H23一之分目堤防災害復旧工事
中尾 健	フジタ道路株式会社	国道50号下館BP神分改良(3)工事
中野 正晴	大成建設株式会社	中央環状品川線シールドトンネル工事-2
永淵 宏治	三井住友建設株式会社	つくばエクスプレス線、秋葉原駅出入口等増築他
中村 拓彦	奥村組土木興業株式会社	H23管内耐震補強補修(その2)工事
中村 康二	株式会社富士土木	路面補修工事(24五の1・歩道改善)
中村 慶克	栄都建設株式会社	豎川水門上流右岸護岸補強工事(緊急施工)
南雲 克之	大林道路株式会社	常磐自動車道谷和原管内舗装災害復旧工事
西尾 哲也	株式会社吉田組	H23竜ヶ崎町歩堤防災害復旧工事
西村 典久	大豊建設株式会社	文京区千駄木二丁目、根津二丁目付近再構築その2工事
西山 悠介	株式会社NIPPO	中央自動車道甲府管内舗装補修工事(平成23年度)
羽澤 健志	日鋪建設株式会社	圏央道五霞IC橋下部その9工事
花田 将彦	東亜道路工業株式会社	平成24年度調布飛行場駐機スポット再編工事
濱中 達也	大林道路株式会社	四ツ木地区安全施設改修他工事
東 英則	ショーボンド建設株式会社	国道6号旭高架橋他補修工事
疋田 禎二	東亜建設工業株式会社	相模川流域下水道右岸処理場 高段沈砂池ポンプ棟築造工事(土木・建築)
藤澤 武陽	株式会社富士土木	小河内貯水池左岸管理道路舗装工事
藤田 智行	あおみ建設株式会社	平成24年度羽伏漁港(4)防波堤建設工事
本田 満彦	鹿島建設株式会社	金町浄水場高度浄水施設(三期)築造及び送水管(2000mm)新設工事
牧野 智久	株式会社ピーエス三菱	圏央道国道297号橋・久保第2橋上部工事
孫谷 弘一	五洋建設株式会社	八幡橋架替工事(その3上部工)
松浦 拓也	株式会社ピーエス三菱	中部横断一色川橋上部工事
松下 勝	あおみ建設株式会社	平成24年度羽伏漁港(4)防波堤建設工事
松藤 大介	技研興業株式会社	古都及び緑地保全工事
真鍋 浩策	日鋪建設株式会社	圏央道五霞IC橋下部その9工事
三浦 道夫	戸田建設株式会社	(高負)YK42工区(1-2)YK43工区(B(1)・D(1)連結路)基礎工事
峯野 浩明	五洋建設株式会社	H22高浜沖浚渫工事
宮崎 亮司	鉄建建設株式会社	さがみ縦貫上依知第1トンネル(その2)工事
森 雅広	三井住友建設株式会社	つくばエクスプレス線、秋葉原駅出入口等増築仕上他
森嶋 芳大	鹿島建設株式会社	芝浦水再生センター雨天時貯留池返水ポンプ室建設工事
森部 広邦	鉄建建設株式会社	中央自動車道八ヶ岳南地区地下横断函渠工工事
守屋 正輝	鉄建建設株式会社	高崎線桶川・北本間二ツ家Bv新設他
山口 健一	西松建設株式会社	さがみ縦貫道路(交差1)ランプ橋新設他

氏 名	会 社 名	工 事 名
山 崎 篤 実	日本道路株式会社	①H24木更津維持工事 ②国道127号富津市金谷地先斜面崩落緊急復旧工事
山 田 雅 彦	東急建設株式会社	国道246号大橋2丁目地区共同溝耐震補強工事
弓 岡 尚 生	株式会社吉田組	さがみ縦貫相模原IC当麻地区改良工事
横 塚 和 久	東洋建設株式会社	鹿島港外港地区外港航路復旧工事（その4）
吉 澤 賢 一	西松建設株式会社	さがみ縦貫道路（交差1）ランプ橋新設他
葭 葉 雅 弘	鹿島建設株式会社	芝浦水再生センター雨天時貯留池返水ポンプ室建設工事
柳 萬 慎 一	大林道路株式会社	H23前橋・碓氷管内交通安全施設設置工事
若 杉 哲 郎	株式会社NIPPO	H23国道17号上落合他電線共同溝路面復旧工事
渡 邊 拓	ショーボンド建設株式会社	H23小山管内橋梁補修工事

【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】（3名）

土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し、公的機関から表彰された者

（氏名50音順・敬称略）

氏 名	会 社 名	発明・論文等名称
穴 井 秀 和	鹿島建設株式会社	新幹線直上に高架橋架設を行う機械装置の開発
早 川 正	東急建設株式会社	鉄道営業線近接・直上におけるHPCa工法を適用したラーメン高架橋の構築
吉 住 陽 行	京急建設株式会社	鉄道営業線近接・直上におけるHPCa工法を適用したラーメン高架橋の構築



東京土木施工管理技士会
会長 水島 久尾

定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ、多数の方々にご出席いただき、誠にありがとうございます。

会員の皆さまには、日ごろ、当会の事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。

さて、昨今の建設業界の状況を顧みますと、景気回復による民需の伸長、被災地の復旧・復興の加速、老朽化したインフラの再整備、さらには2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた各種施設の整備など、建設需要は増加傾向にあります。

しかしながら、長期にわたった公共投資の減少や若年者の建設業離れにともなう高齢化が進み、深刻な人手不足に陥っているのが現状です。

このような中、国土交通省におかれては、技能者の適正な賃金の確保と若年者の入職促進につなげるために、昨年を引き続き、今年も「設計労務単価」の大幅引き上げを実施されました。厚生労働省の調べによりますと、平成25年度の建設業の平均給与が1.7%上昇したとのことです。

また、現在、国会では、インフラの品質確保と建設業界の将来の担い手確保を目的とした「公共工物品確法（公共工物品質確保促進法）」「建設業法」「入契法（公共工事入札契約適正化法）」の一体的な改正案が審議されておりますが、まもなく成立する見通しとのことです。建設業が将来にわたって、国民の安全・安心を守るという社会的責務を果たしていくために、発注者責任を明確にされたものであり、我々は期待に応えていかなければなりません。

ところで、当会では、平成26年度の事業として、法人会員が優秀な若年技術者を確保する一助として、新たに「合同企業説明会」を東建と共催するほか、講習会・見学会の実施を通して、会員の技術力向上の支援を行うとともに、一般向けに土木施設の見学会を開催し、「土木」への理解促進を図りたいと考えております。

今後とも、会員の皆さまには、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。